

平成 27 年度

優良活動事例 表彰団体

1. 活動する“キッズサポーター” “学生サポーター”を養成する サポーター講座展開事例

- | | |
|---|--|
| ① 東海大学 教養学部
人間環境学科 社会環境課程
堀ゼミナール 3 年生 | 大学生メイトが大学内・地域で展開する
サポーター養成 |
| ② 金沢医科大学 精神神経科学 | 僻地での認知症予防への挑戦
～医学生、看護学生メイト・サポーターの実践 |

2. 企業・職域団体における認知症サポーターの活動事例

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| ① 株式会社 イトーヨーカ堂 | サポーター養成を核とする地域に
根ざした店づくり |
|----------------|-----------------------------|

3. 認知症の人の支援に向けた認知症サポーターの活動事例

- | | |
|---|-------------------------------------|
| ① NICE！藤井寺親父パーティー
(大阪府藤井寺市) | 団塊サポーターが活躍
NICE！藤井寺親父パーティー |
| ② 福岡市城南区堤校区住民
小規模多機能施設めおといわ「ゆい」
施設長 党 一浩
福岡市城南区保健福祉センター
地域保健福祉課職員
(福岡県福岡市) | ステップアップ・サポーターが運営する
「つつみカフェ」の取り組み |
| ③ 松阪市 健康ほけん部
高齢者支援課 (三重県松阪市) | 高齢者安心見守り隊
～「認知症を正しく知る」から自主的活動へ |

選考評価のチェックポイント

1. 「活動する“キッズサポーター”“学生サポーター”を養成するサポーター講座展開事例」

- ①認知症の基礎知識の内容（標準教材に沿った内容）がしっかり押さえられているか。[基本]
- ②講座の組み立て方に工夫があるか。[工夫]
（受講者を飽きさせない、対象者に応じて興味をもてるように 等）
- ③認知症の症状や対応のポイントについて、わかりやすく伝えているか、誤解を招く表現などがないか。
認知症の人の行動で笑いをとるような表現はないか。[表現]
- ④認知症について暗いイメージ、悲惨さを伴う表現に偏っていないか。[悲惨さへの偏り]
- ⑤キッズ・学生サポーターの活動（高齢者との交流、施設訪問等）が、自治体等地域で生かされているか。[活動]

2. 「企業・職域団体における認知症サポーターの活動事例」

- ①自治体等地域の関係機関との連携が図れているか。[連携]
- ②業務の特徴に応じた工夫がなされているか。[工夫]
- ③活動地域で受け入れられ、評価されるべき活動実績があるか。[活動実績]

3. 「認知症の人の支援に向けた認知症サポーターの活動事例」

- ①多職種のメンバーで構成され、各サポーターの属性、特色を生かしているか [多職種構成]
- ②自治体等地域の関係機関との連携が図れているか。[連携]
- ③地域の実情に応じた工夫がなされているか。[工夫]
- ④地域における認知症の人・その家族が活用しやすい機能を備えているか。[活用のしやすさ]
- ⑤活動地域で受け入れられ、評価されるべき活動実績があるか。[活動実績]

平成 27 年度 認知症サポーターキャラバン報告会 「優良事例」 選考委員

全国キャラバン・メイト連絡協議会 推進委員会

50音順

委員長	若杉 史夫	(東京経営者協会理事)
委員	井形 昭弘	(名古屋学芸大学学長)
委員	浦上 克哉	(鳥取大学医学部保健学科教授)
委員	大森 彌	(東京大学名誉教授)
委員	斎藤 正彦	(東京都立松沢病院院長)
委員	坂本 昭文	(鳥取県南部町町長)
委員	菅原 弘子	(全国キャラバン・メイト連絡協議会 ／NPO 法人地域ケア政策ネットワーク事務局長)
委員	高島 久美子	(看護師／キャラバン・メイト)
委員	鳥海 房枝	(特定非営利活動法人メイアイヘルプユー 事務局長)
委員	日色 ともゑ	(俳優)
委員	古川 貞二郎	(恩賜財団 母子愛育会理事長)
委員	堀田 力	(さわやか福祉財団理事長)
委員	森 貞述	(NPO 法人地域ケア政策ネットワーク理事／ 介護相談・地域づくり連絡会代表)
委員	山口 晴保	(群馬大学大学院保健学研究科教授)
オブザーバー	櫻井 宏充	(厚生労働省老健局総務課 認知症施策推進室 室長補佐)
オブザーバー	石松 香絵	(厚生労働省老健局総務課 認知症施策推進室)